



平成 20 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 南海プライウッド株式会社
 代表者名 代表取締役社長 丸山 徹
 (コード7887 大証第2部)
 問合せ先 常務取締役 田井 雅士
 (TEL. 087-825-3615)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 11 月 21 日の中間決算発表時に公表した平成 20 年 3 月期 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

I 業績予想の修正

1 平成 20 年 3 月期連結業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)

(単位：百万円, %)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	13,500	530	540	295	円 銭 29.77
今 回 修 正 予 想 (B)	13,383	386	78	△21	△2.14
増 減 額 (B-A)	△116	△143	△461	△316	—
増 減 率 (%)	△0.9	△27.0	△85.4	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 3 月期)	14,775	632	978	549	55.42

2 平成 20 年 3 月期通期業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)

(単位：百万円, %)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	11,500	260	375	90	円 銭 9.08
今 回 修 正 予 想 (B)	11,300	186	△70	△228	△23.11
増 減 額 (B-A)	△199	△73	△445	△318	—
増 減 率 (%)	△1.7	△28.4	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 3 月期)	12,357	495	820	390	39.36

3 修正の理由

連結業績につきましては、米国で発生したサブプライムローン問題に端を発する金融市場の混乱、ガソリン価格の高騰、住民税の増税などの影響により個人消費が伸び悩むなど厳しい状況で推移いたしました。住宅関連業界におきましては、平成19年6月に改正建築基準法が施行された影響により、建築確認許可が停滞し、新設住宅着工戸数も大幅に減少するなど、低調に推移いたしました。電線関連事業等におきましても同法の影響は大きく、建設物件が大幅に減少し、受注競争の激化となりました。このような市場環境のなかで、当社グループは、通期業績の達成に向けて、木材関連事業では、主力製品である収納材に絞り込んだ営業展開の拡販を実施しました。電線関連事業等では、小型建設物件の受注に営業努力をはかりました。しかしながら、市場環境の停滞が長引き、住宅市場の回復が予想したより大幅に遅れているため、売上高は木材関連事業、電線関連事業等、前回予想から減少することが見込まれ、下回る見通しとなりました。

利益面につきましては、売上高が減少する見通しであること、内部統制整備にかかわる販管費の増加、外貨建資産の為替差損、デリバティブ評価損、持分法適用会社の投資損失等計上による営業外費用の増加等の影響により前回予想を下回る見通しとなりました。個別業績につきましても、上記と同様の理由により、前回予想を下回る見通しであります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、平成20年3月期決算短信は、平成20年5月20日に公表予定であります。

II 配当予想の修正

1 修正の内容

期末配当予想の修正（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

基準日	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
前回発表予想	円 銭 —	円 銭 12 00	円 銭 12 00
今回修正予想	—	8 00	8 00
ご参考) 前期実績（平成19年3月期）	—	12 00	12 00

2 修正の理由

当社は安定的利益還元維持とともに、適正な利益配分を行うことが経営課題であると認識しております。業績につきましては、上記のとおり当初予想を下回る見込となりましたので、1株当たりの期末配当金を従来予想の12円から4円減の8円とさせていただきます。予定です。

以 上